

事業報告書

# とやま未来創造ミーティング2022

主催：富山市・公益社団法人富山青年会議所

【作成】

公益社団法人富山青年会議所

2022年度まちづくり委員会

# Ⅰ 事業概要

## 1.本報告書の位置づけ

本報告書は、公益社団法人富山青年会議所（以下、JCI富山）と富山市が共催で実施した「とやま未来創造ミーティング2022」における参加者の討議結果を報告書としてまとめ、改めて参画意識を高めていただければと思い作成しました。この報告書を見て市民の皆様が、とやまのまちづくりに積極的に参加しようと思っただけの機会になることを願います。

## 2.「とやま未来創造ミーティング2022」開催に至る経緯

行政・まちづくり諸団体、それぞれの活動を通じてまちづくりが行われていますが、単独の活動だけでは地域全体の活性化に繋がりにくく、地域（まち）の取り組む課題に市民の意見を取り入れ、各団体が一体となって参画意欲を高めていく必要があります。それらを踏まえ、私たちJCI富山と富山市が連携をとり、市民がまちづくりについて考え、互いの意見を交換する機会が必要と考え、この「とやま未来創造ミーティング2022」を開催いたしました。この機会を通じて、市民のまちづくりへの参画意識が高まることで、まちづくりに関心が深まり、まちのために行動する市民が増えることで、市民の意見や考えが地域に影響を与えます。この議会は、市民の声を行政の施策に反映するための新しい手段として開催に至りました。

## 3.「とやま未来創造ミーティング2022」開催概要

2022年10月29日（土曜日）及び30日（日曜日）の計2日間  
13:00～17:00（受付時間 12:30）

一般参加者 1日目20名 2日目20名 計40名

【実施場所・会場名】富山県民会館704号室

【住所】富山県富山市新総曲輪4-18

### 【参加者抽出方法】

住民基本台帳から18歳から70歳未満の計2,000名を無作為抽出し、チラシ・開催案内状を送付の上、参加を依頼します。同封した返信ハガキにて参加・不参加・見学の意思を確認し、参加者を決定します。

### 【講師】



富山市より企画管理部 スマートシティ推進課の中村様にお越し頂き、討議1と討議2の間に、実際に今富山市が取り組んでいるスマートシティのプロジェクトや、そもそもスマートシティとは何かといった観点でご講演頂きました。討議2を実施するにあたり、住み暮らすこの地域で何が行われているかを知って頂き、より深い討議を実施することができました。

富山市役所スマートシティ推進課  
中村 圭勇（なかむら けいゆう）氏

過去の返信数実績一覧

|         | 2022年実績 |        | 2020年実績 |        | 2018年実績 |        |
|---------|---------|--------|---------|--------|---------|--------|
| 参加者定員   | 40      |        | 100     |        | 100     |        |
| 案内発送数   | 2000    |        | 2400    |        | 3000    |        |
| 返信数     | 403     | 20.15% | 523     | 21.79% | 775     | 25.83% |
| 参加可能数   | 71      | 17.61% | 118     | 22.56% | 134     | 17.29% |
| 見学数(希望) | 8       | 1.99%  | 5       | 0.96%  | 7       | 0.90%  |
| 不参加数    | 332     | 82.38% | 400     | 76.50% | 634     | 81.80% |
| 参加数(結果) | 40      |        | 78      |        | 94      |        |

I) 2022年 参加可能者内訳

| 年齢  | 合計 | 男  | 女  |
|-----|----|----|----|
| 10代 | 9  | 4  | 5  |
| 20代 | 16 | 8  | 8  |
| 30代 | 16 | 6  | 10 |
| 40代 | 9  | 7  | 2  |
| 50代 | 8  | 2  | 5  |
| 60代 | 11 | 7  | 4  |
| 合計  | 69 | 34 | 34 |

II) 2022年 参加者内訳

| 年齢  | 合計 | 男  | 女  |
|-----|----|----|----|
| 10代 | 5  | 0  | 5  |
| 20代 | 9  | 2  | 7  |
| 30代 | 12 | 4  | 8  |
| 40代 | 5  | 3  | 2  |
| 50代 | 4  | 2  | 2  |
| 60代 | 5  | 5  | 0  |
| 合計  | 40 | 16 | 24 |

※無記名1名(57歳・名前・性別無記名)

オブザーバー 10月29日 4名  
(合計11名) 10月30日 7名

報告動画



## II 討議結果

テーマ:「もっと暮らしが豊かになるまちにするために」

討議1)あなたにとって暮らしの「質」ってなんですか？

討議2)暮らしの「質」を向上するために、今の富山市に足りていること、足りていないこと

### ■討議において達成された点と達成されなかった点

#### ◎目的達成した点

アンケートの結果、とやま未来創造ミーティング2022に参加して「とても良かった」と答えた方は27名、「良かった」と答えた方は13名であり、回答者40名全員から参加して良かったとの回答をいただきました。また、幅広い年代、職業の方と意見交換（対話）が出来たことでとても勉強になった、今後このような企画に参加してみたいとの声も多くいただきました。講演を聴き、話し合いをすることで富山市が抱える課題について自身に何が出来るか考える良い機会となったとの声も多くいただき、まちづくりに対する参画意欲向上に繋がったと考えます。

#### ◎目的達成しなかった点

討議会に参加して、これからも「まちづくり」に参加していこうという気持ちになりましたか？というアンケートに対して「とてもなった」「なった」が多数を占める中、「どちらともいえない」が2名おられたこと、また今回の意見が市政に反映されるか不明であるとの若干否定的な意見もあり、すべての方の参画意欲向上には至りませんでした。

討議テーマ① もっと暮らしが豊かになるまちにするために

A グループ 氏名 **ダイス**

付箋貼り付 [議題1]

図書館と  
も、とみ分け。

住まいやすい  
子育て  
しやすい  
医療

交通と  
移動手段

渋滞に  
悩まされ  
ない

時間

安全

住環境

あたり前の  
日常

議題1-まとめ

自然

空気

水が  
おいしい

コミュニティ

アウトドア  
ごきげん場所が  
ほしい。

付箋貼り付 議

手段

企業はたっ  
てる。

人材育生の  
そがひ。

(コロナ化で  
こいぬかへー)

まんはう、まっ  
をゆふ、あう、  
仕事の拡大して  
はしむ

人口が少ない  
せ町の  
にま交差機関

年ありさの  
買、い物場所

児童保育

通手段

食材

使床

スポーツ  
をも、とふかして  
ほしい。

子育てと  
仕事の両立  
がしやすい

意見

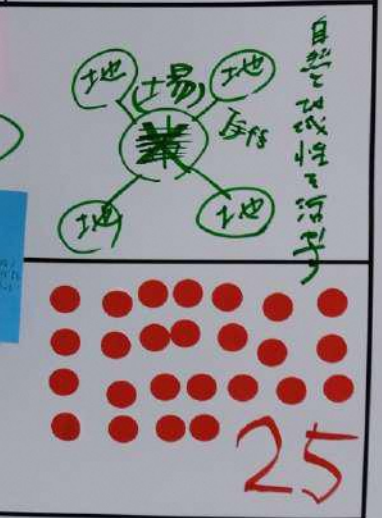
問題

解決

事例

気軽な集  
れる場が少ない

コミュニティ  
が少ない  
(半の交通はOK)



討議テーマ①

もっと暮らしが豊かになるまちをつくるために

Bグループ

氏

ALL TOYAMA

自由  
時間

金

行政手続きが  
シンプル

コミュニティバス

議題

にぎやかな

街中

1人時間  
が欲しい

総合課  
が欲しい

新幹線や  
バス電車等  
公共交通機関の  
連結

若い人が  
いて  
活力の  
ある町

大きな遊び場  
広場を作  
りたい。

酒

子育て  
しやすい。  
助成が豊富

シャッター  
商店街を  
にぎやかに

路面電車

ボランティア

先人

お母さん  
の  
サービス

コンビニ  
スーパー等  
生活の基盤

遊びに  
来たい  
魅力的なところ

散歩、ジョギング  
コースは、鳥が  
ない。

ちい乗りできる  
自転車(スクロ)の  
ステーションが近い

仕事への  
復帰のしやす  
い

富士山市に  
イオンが  
きてほしい

ゆるキャラが  
いない。

老後(年金等)  
の心配が  
少ない

食べ物

災害が少ない

同じ場所  
(道路)での修繕  
の工事

健康寿命を  
伸ばす取り組み

HP作成済み

広報  
情報が分かりにくい

〇セッション

水がおいしい

障害者の  
支援を  
してほしい

旧富士市以外  
(山南郡)の高齢者の  
増加が心配。近所の  
高齢者の負担も大きくなる  
一方など、空き家も増加  
世代の紹介やリターンは  
条件付きで推進する  
政策としてある。増加を  
防ぐ

空き家活用

魅力で伝えられて  
いない

高校時代の  
専門学校の  
最寄り駅から  
歩いて通え不便に  
感じている生活者が

24時間  
と両親とは  
異なる。

富士山市役所にも  
赤いやみこーと  
置いてほしい

まとめ

広報を分かりやすく  
改善  
→若い人にも  
興味を持って  
もらう

観光客にも  
住民にも  
魅力的な町に

若い人が集まる  
活力的な町に

公共交通が  
活性化

さらにもっと  
行きたくなる  
魅力的な町に

転入者の増加

意見



27



討議テーマ①

暮らしが豊かになるまちにするために

C グル

おいしい食べ物  
おいしい水

名 ほんもないとやま

議題 I

議題 I - まとめ

食べ物  
水  
にぎわいのあるイベント  
選択肢が多い  
利便性  
公共交通

付箋貼り付けスペース [ 議

議題 II - まとめ

たりの  
資源  
食  
店  
土地  
たりの  
発信力  
情報  
公共交通  
公共施設  
連絡力  
若者(市町村)の  
サービスの質

まとめ

資源があるが十分に  
情報発信が  
公共交通の  
ポット別  
たりない  
あつくり・息あつくり  
者向け

意見



討議テーマ① もっと暮らしが豊かになるまちにするために

Dグループ 氏名 しょうじ

「議題」

おいしい物  
スズホが  
つたんて  
交通の便  
おいしい食べ物  
食  
わがやま  
ごろごろ  
なワークライフバ  
スポーツ施設の収  
(人が多いので)  
遊べる場所が  
多  
おしゃべり  
おしゃべり

議題I-まとめ

質とは

- ・食生活の充実
- ・インフラの充実
- ・娯楽施設の充実
- ・コミュニティの場の充実
- ・時間の余裕があること

付箋貼り付けスペース

目標  
技術  
必要なもの  
気軽に買え  
行けること  
交通  
足りていない  
交通の便  
歩行者の便  
お金  
食事  
食の豊か  
検索施設  
雨天時  
若者の集める  
場所  
若い世代  
娯楽施設の充実  
歩行者の便

議題II-まとめ

足りていること

- ・食が豊か

足りていないこと

- ・交通
  - 交通の便(劣)
  - 歩行者の分離
  - デジタル技術  
(バスの位置情報など)
- ・娯楽施設
  - ラオクワン、カオクワン
  - 体育館など
  - 若者向けの場屋など
  - デジタル技術  
(体育館の予約機能)

| まとめ    | 暮らしの質が良いとは                                                                      | 足りない点/足りないか | 課題                                                |
|--------|---------------------------------------------------------------------------------|-------------|---------------------------------------------------|
| 食生活    | 食生活が充実していること                                                                    | 満足          |                                                   |
| 交通     | 交通の便が良いこと<br>除雪が行き届いていること<br>歩行者、自転車、自動車を中心に通行できること                             | 不足          | バスなどの本数を増やす<br>除雪車が自転車転倒を減らすこと<br>郊外の路面の整備        |
| 娯楽     | ラオクワン、カオクワンなどがある、多いこと<br>体育館などの施設が不自由な利用ができること                                  |             |                                                   |
| デジタル技術 | 若者向けの場屋などが充実していること<br>公共交通機関の位置情報などがリアルタイムで見えること<br>体育館などの施設の予約情報などが見える仕組みがあること |             | 高山駅周辺に若者の集まる場屋を<br>7アリアで位置情報と連動して<br>アプリで施設予約ができる |

意見

22



討議テーマ①

もっと暮らしが豊かになるまちにするために

A グループ

氏

プロジェクトA

遊楽雑所

施設

付箋貼り付けスペース

健康

安心安全

食生活

下力

維持

地産  
地消

運動の

促進

ストレスの

軽減

MyPa

活用

インフラ

整備

(+) 図書館

の充実

無料の

場所

の活用

の促進

の充実

の活用

の促進

の充実

の活用

の促進

の充実

の活用

の促進

の充実

公共交通機関と  
定期的な  
公共交通機関の  
バスとの  
接続時間の  
調整

住環境  
(近隣環境)  
自然のバラス

議題I-まとめ  
・安心安全(住環境)  
・健康  
・利便性(交通)  
・食生活  
・意見・介護・医療の充実

全国の  
TV等の  
放送  
の充実

便利で  
新しい

地域相互  
交流  
交通の便

議題II-まとめ  
・公共交通機関の更なる充実  
・高齢者(弱者)の対応・受入  
・福祉サービス(料金制度)  
・中心部と周辺の格差  
・移住者への配慮

情報の  
発信

移住・転居  
しやすい

見守りの  
仕組み

将来のための  
人材教育の  
充実

駅周辺の  
無人化  
で生じる  
不安への  
対応不足

本教

(一) 水戸と  
まの  
イメージ

(一) マンパ  
ワの  
育成

登山の  
安全  
の確保

健康  
(住者に対し)  
の確保

(一) 山  
の  
活用

個人企業  
の  
収入

防災  
の  
対策

防災  
の  
対策

(一) 防災  
の  
活用

防災  
の  
対策

意見

● ● ● ● ●  
● ● ● ● ●  
● ● ● ● ●

● ● ● ● ●  
● ● ● ● ●  
● ● ● ● ●

26

除雪 マ① もっと暮らしが豊かになるまちにするために

除雪のしやすさ

One Team♡

料理系の学校が少ない

仕事の種類が豊富

映えるカフェがほしい

高齢者を支える仕組みづくり

議題 I - まとめ
・雪(天候)に左右されない
・若い人が好む場所があると質が高い
・教育の質
・車だけでなく交通手段
・買い物のしやすさ
・曜日に左右されない

食べ物のおいしさ

手段

景色のいい場所がほしい

図書館 公園の整備
子どもと一緒に行きやすい場所がほしい

生活空間 [議題 II]

議題 II - まとめ
・医療が充実している??
・人がいい
・土地に余裕がある
・情報の発信力(県内・県外両方)

保育園に比較的入りやすい

病院の数が少ない

情報発信提供

選挙 関心

サイクリングロードが確保されている

のんびりしている

病院がいろんな地域にある

SNSの発信

インターネット投票がほしい

機械化と対応の仕方

全天候型の公園

情報の発信が足りない 例: SNSの発信、広報誌が読みやすくない
選挙 例: インターネット投票
機械化の対応

意見



24

# 越中男女

豊かになる

人とのわり

色んな人とのコミュニティ作り

趣味

他県からの旅行に来てもらう  
大きな施設

交通手段がたくさんある

食支援  
子供・成人の

学習・福

食べやす

買い物がしやすい  
TAKEOUT  
ごはんが近くにある

生活費の負担軽減

借金 お金

市の参事  
未来のEITの  
方向性が住民の  
理解を促している

住民の行政の  
参加の場面が  
少ない

## 議題I-まとめ

- 不足 移動手段
- 災害対策
- 安全 災害
- 高齢者の食支援
- 児童 (2年お昼食)
- 情報共有
- 子育て支援
- 高齢者の参加

## 議題II-まとめ

- 食卓への補助 (65歳以上)
- 交通
- 災害 治安
- 雪道対策
- 食バキヤ
- 地区センター  
(習いごと  
窓口機能  
図書館)

## 議題III-まとめ

- 無
- 乗り場の冬対策
- 他県への広報が
- 教育の選択肢

全ての幸せが  
お互いが  
幸せになる

環境が  
住むのが  
好き  
幸せに  
なりたい

- 地区センター E. 行政: コミュニティの場を利用
- 広報の発展 → 見せかけに楽しめよう!
- コラム  
文字の大きさ  
地区センターでの活動紹介  
フリーペーパーと協力, SNS

- 子どもが安心して集まれる場所  
( ~8才 ) (地区センター 学童)
- 地域づくり  
↳ お互いが尊重  
幸せにしたい!
- 食育を継続! (食バキヤ)

## 意見

プレミアム交通券 → 1-カーデー  
食事



お金 討議テーマ①

もっと暮らしが豊かになるまちにする

Q O T

議題Ⅰ-まとめ

- 〇人とのつながり  
→情報の受けとり・発信
- 〇健康(肉体的・精神的)
- 〇衣食住と交通

議題Ⅱ-まとめ

- 〇足りてるもの  
自然災害が少ない  
水・魚・米食の充実
- 〇足りないもの  
情報の発信力・受信力  
健康への関心  
(市も住民も)

まとめ

〇情報の発信方法の充実 → 富山<sup>市</sup>のキャラクターを作って発信!!

〇持続可能な団子の充実

意見



27

令和4年9月吉日

各 位

富山市長 藤 井 裕 久

公益社団法人富山青年会議所  
理 事 長 針 田 慶

### 「とやま未来創造ミーティング2022」の開催について（ご案内）

日頃から、市行政について格別のご理解をいただき、厚くお礼申し上げます。

このたび、富山市と公益社団法人富山青年会議所の共催により、「とやま未来創造ミーティング2022」を開催いたします。

「とやま未来創造ミーティング2022」は、まちづくりの課題や地域の身近なテーマについて討議していただき、市民主役のまちづくりの実現に向けた新しいスタイルの会議です。

今年のメインテーマは「もっと暮らしが豊かになるまちにするために」としたうえで、討議テーマは「あなたにとって暮らしの「質」ってなんですか?」、「暮らしの「質」を向上するために、今の富山市に足りていること、足りていないこと」を予定しております。

皆様には、同封しましたチラシをご覧頂き、是非ご参加くださいますよう宜しくお願いいたします。出欠につきましては、同封のはがきにて10月7日（金）までにご返信願います。もしくはお電話でも受け付けております。

お電話の際は080-9511-1247（まちづくり委員会直通）にお電話いただくか、下記のお問合せ先までご連絡下さい。

なお、本案内は富山市の住民基本台帳から無作為抽出した18歳以上の市民2,000名の皆様に送付させていただいております。

（本件に対するお問合せ先）

公益社団法人富山青年会議所  
電話076-461-6865

（担当）

富山市役所商業労政課  
電話076-443-2070

# TOYAMA FUTURE CREATION MEETING 2022

2022

ミーティング

とやま未来創造

もっと暮らしが豊かになる  
まちにするために

10/29・30  
SAT SUN

両日 13:00-17:00 受付 12:30~

会場 富山県民会館 704号室

富山県富山市新総曲輪4-18

## AGENDA 1

あなたにとって  
暮らしの「質」ってなんですか？

## AGENDA 2

暮らしの「質」を向上するために、今の富山市に  
足りていること、足りていないこと

### とやま未来創造ミーティング2022とは？

市民と行政との協同により「まちづくり」を考える市民討議会です。住民基本台帳から無作為抽出された市民が、少人数のグループに分かれ、議題ごとに必要な情報の提供を受けて、地域問題などの身近な問題をディスカッションします。全国の多くの市町村でも開催されており、富山でも2010年度より開催され、今年で13年目を迎えます。

### 参加すると？

あなたの意見が富山市のまちづくりに反映されるかもしれません。討議で集約された意見は、報告書にまとめます。

※当日の謝礼として些少ですが5,000円をお支払いします

主催

富山市



Junior Chamber International TOYAMA  
公益社団法人 富山青年会議所

# もっと暮らしが豊かになる まちにするために

## AGENDA 1

あなたにとって  
暮らしの「質」ってなんですか？

## AGENDA 2

暮らしの「質」を向上するために、今の富山市に  
足りていること、足りていないこと

この度、富山市と公益社団法人富山青年会議所の共催で  
「とやま未来創造ミーティング2022」と題した市民討議会を開催する運びとなりました。  
この討議会は、市民主体のまちづくりの実現に向け、  
市民の皆様へ、まちづくりの課題について討議していただく新しいシステムです。  
皆様が普段、とやまのまちについて感じていること、  
意見したいことなどをこの機会にお聞かせいただけないでしょうか？



皆様に是非ご参加いただきたく、同封の返信ハガキにて出欠をお知らせください。  
参加をご希望された皆様から厳正な抽選により参加者を決定させていただきます。

- いずれかの日で、すべて時間に参加できる方に限らせていただきます。
- 参加者には当日の謝礼として、5,000円をお支払いいたします。
- 討議の様子は公開とさせていただきます、ご自由に見学できます。  
内容報告についても後日、富山市役所のHPに掲載させていただきます。
- 会場までの交通費または駐車料金は自己負担になりますのでご了承ください。

※取得した個人情報は、本討議会の目的以外には利用しません。

### 当日の運営について

定員 両日 **20名**ずつ

1テーブル**5名**とし、  
**4グループ**に分かれていただきます。

しっかりと感染症対策を行った上で、  
テーマに基づいた討議を行っていただきます。

### お問い合わせ先

富山市役所商業労政課商業振興係

TEL.076-443-2070

FAX.076-443-2183

公益社団法人 富山青年会議所 (担当: まちづくり委員会)

TEL.076-461-6865 FAX.076-461-6866

E-mail : info@toyamajc.or.jp www.toyamajc.or.jp



